

志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

一人ひとりの尊厳と権利が守られ安心して暮らせるまちづくり

(1) 高齢者等虐待防止への取り組みの経緯

①高齢者等虐待防止ネットワークの構築

平成 18 年度の立ち上げからこれまでに年 3 回程度の高齢者等虐待防止ネットワーク会議を開催し、虐待防止マニュアルの検討や虐待対応、虐待の早期発見・未然防止、介護者支援などについて議論を重ねてきた。

②権利擁護専門委員会

市民の生命の安全保障のために、行政責任において必要な措置を迅速に決定し実行するにあたって、関係機関による多角的な情報収集と総合的な検討をする組織として、権利擁護専門委員会を設置した。緊急に虐待対応すべき事項が生じたときに招集され、措置入所などを決定していく。

(2) 志摩市あんしん見守りネットワーク

①目的と協力員の役割

《目的》


「志摩市あんしん見守りネットワーク」は、地域で暮らすすべての人々を福祉コミュニティづくりのための社会資源と考え、困りごとのある人や支援の必要な家庭を、日常業務や普段の暮らしの中で地域のみんなで見守り支えていこうというものである。

「あんしん見守り協力員」に登録している自治会や金融機関、商店、民生委員・児童委員など数多くの地域の関係者と協力・連携を図り、1) 高齢者や子ども、障がい者などへの虐待の早期発見・防止、2) 生活困窮や困りごとがあっても訴えることのできない家庭の早期発見、3) 認知症のある徘徊高齢者の安全確保、4) 孤立死防止のための独居高齢者に対する安否確認など、地域に密着した見守りを行うことで市民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目的にネットワークの構築を図っていく。

《あんしん見守り協力員の役割》

- 高齢者、障がい者、子どもが道や店で困っていたら、わかりやすく短い言葉で「ひと声」かける。
- 「ゴミだらけ・・・」「生活に困っているのかも・・・」「いつも怒鳴り声が・・・」など気になる家庭があったら、ふくし総合支援センターへ知らせる。
- 年 2 回研修会へ参加して、認知症への対応や虐待防止への理解を深める。
- 「△△さんが行方不明です」の市内放送が流れたら、自宅や店舗の周囲を確認する。
- 認知症らしい人が迷っていたら、店や自宅で保護をする。本人に了解を得て、持ち物を確認して、「あんしんネーム」を持っていたら連絡先へ電話を入れる（持っていない場合は、ふくし総合支援室へ電話を入れる）。


志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

	あんしんネーム _____ 【志摩市あんしん見守りネットワーク】
氏名	福祉 花子 (ふくし はなこ)
連絡先	0599 - -
本人がお困りのようなら、ご連絡ください。 発行者；志摩市ふくし総合支援室 0599 - 44 - 0280	

◎志摩市あんしん見守り協力員登録者

現在の「志摩市あんしん見守り協力員」は、平成18年度に取組みのあった「虐待防止協力者（約300人）」と「高齢者あんしん見守りネットワーク協力店（約60店舗）」の2つのネットワークを平成19年度に統合・強化したものである。
○登録者数：774人（平成20年9月1日現在）

■あんしん見守り協力員証

	協力者証
	第 _____ 号 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日交付
所属所名 氏名	_____
上記の者は、志摩市あんしん見守り協力員であることを証明する。	
志摩市長	

私たちは、高齢者・障がい者・子どもたちが安心して暮らせるように地域の見守りに協力します。

【連絡先】

志摩市ふくし総合支援室
(志摩市福祉事務所内)
電話0599-44-0280

志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

■虐待対応協力者承諾書兼宣誓書

承諾書兼宣誓書

志摩市虐待防止等に関する虐待対応協力者となることを承諾するとともに、個人情報
の取扱いを遵守し、個人の保護に関する志摩市の施策について協力するととも
に、知り得た個人情報について、他に漏らさないことを固く誓います。

志摩市長 様

平成 年 月 日

【住 所】

【氏 名】

印

【生年月日】

【電話番号】

【所属所名または役職】

志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

高齢者等介護・生活状況チェック票（ケアマネジャー用）

（記入日） 平成 年 月 日
（記入者）

氏 名		生年月日	
住 所		連 絡 先	
介 護 度	要支援（ ）・要介護（ ）・自立	主 治 医	
介護者氏名	続 柄（ ）		

あてはまるところに☑を入れてください。

チェック欄	サイン
	身体に不自然なキズやあざ、やけどの跡がある。そのキズやあざ、やけどをした理由について、説明のつじつまが合わない。
	「（怖いから）家にいたくない」「（叩かれるから）帰りたくない」「施設に行きたい」「（介護者や家族が）こわい」等の訴えがある。
	外へ出ていかないように家に閉じ込めている。 ・認知症による徘徊がある場合は、☑を入れてください（ ）
	「早く死にたい」「生きていてもおもしろくない」「私なんか・・・」「私さえガマンすれば・・・」というような無気力感や投げやりな様子がみられる。 (理由：)
	肛門や性器からの出血やキズがみられる。生殖器の痛み、かゆみを訴える。
	年金があるのに、たびたび「生活が苦しい」「お金が足りない」と訴える。
	「いつも が私のお金をもっていく」と愚痴をこぼすことが多い。 ・認知症による被害妄想の場合は、☑を入れてください（ ）
	本人の年金を、本人が納得していないのに家族が生活費として使っている。
	利用負担のあるサービスを利用したがない。利用を勧めても消極的である。
	通院が必要なのに、医療機関を受診したがない。
	サービス利用料や電気・ガス・水道・電話などの生活費の滞納がある。
	居住部屋、住居が極めて不衛生である。
	いつも同じ衣類を着ていたり、汚れたり、破れたりしている。
	気候にあった衣類を着ていない（冬なのに薄着など）
	身体から異臭がする。 ・認知症により入浴を嫌がる場合は、☑を入れてください（ ）
	不自然に体重が減少している。空腹を訴える。栄養状態が悪い。

志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

介護者の態度及び負担感

	要介護者に対して、冷たい態度や無関心さがみられる。家族全員で無視する。
	世話や介護に対する拒否的な発言がたびたび聞かれる。
	他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法にこだわる。
	通院が必要なのに医療機関を受診させない。入院の勧めを拒否する。
	要介護者に対して「いつまで生きているんだ」「いつまで介護させる気だ」「早く死ね」「うっとうしい」「汚い」など、過度に乱暴な口のきき方をする。怒鳴る。
	ケアマネジャーと会うのを嫌う。またはなかなか本人と合わせてくれない。
	疲れている、眠れない、介護が辛いと訴える。健康不安、体調が悪いと訴える。 そのことでケアマネジャーさんが「虐待になる可能性がある」「介護は限界かもしれない」と感じる場合は、チェックを入れてください。
	介護を代わってくれる人や相談相手がいない。 そのことでケアマネジャーさんが「虐待になる可能性がある」「介護が限界かもしれない」と感じる場合は、チェックを入れてください。
	介護者または家族が無職・無収入（あるいは収入が少ない）、借金がある等、経済的な問題により困っているようだ。
	介護者・家族に何らかの障害があり、要介護者の状態について理解ができない。 ケアマネジャーのかかわりだけでは対応が難しい。

地域で気になること

	自宅から高齢者や家族のどなり声や物が投げられる音が聞こえる。
	庭や家屋の手入れがされず荒れている。多くのゴミが放置されている。
	気候（天候）が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしば見られる。
	地域の人たちや親族とほとんどつきあいがなく、孤立している。

その他、気づいた点についてご記入ください。

志摩市ふくし総合支援室 権利擁護事業について

高齢者等虐待早期発見のためのチェック票（施設入所者用）

（記入日）平成 年 月 日
（記入者）

氏 名		生年月日	
施 設 名		要介護度	要介護（ ）

あてはまるところに☑を入れてください。

チェック欄	サイン
	身体に不自然な小さなキズやあざが頻繁にある。
	臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある。
	急におびえたり、恐がったりする。
	キズやあざのできた理由について、説明のつじつまが合わない。
	「職員が怖い」「職員に怒鳴られる」「職員にいじめられる」との訴えがある。
	「職員に赤ちゃん言葉や幼児言葉で話しかけられ不愉快だ」との訴えがある
	「入浴させてもらっていない」との訴えがある。
	「食事を十分食べさせてもらえない」との訴えがある。
	「おむつ交換を十分してもらえない」との訴えがある
	「トイレ介助を十分してもらえない」との訴えがある。
	かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる。
	不規則な睡眠（悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等）を訴える。
	おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる。
	極端に痩せていたり、太っていたりする
	無力感、あきらめ、投げやりな様子である。
	自傷行為がみられる。
	肛門や性器からの出血やキズがみられる。
	衣類やシーツが不衛生で、汚れている。
	本人が嫌がっているのに、異性介護が行われている。
	「入所させてやっている」という態度で職員が接する。
	参加したくない行事に無理に参加させられる。
	職員に対して処遇に対する不満を訴えても、わがままとしかとらない。
	入所費用やお小遣いの使途に関し、説明を求めても適当にあしらわれる。

気になることがあれば、ご連絡ください。

高齢者等の生活状況連絡票（協力員用）

（記入日） 平成 年 月 日

（記入者）

（連絡先）

対象者氏名		住 所	志摩市
-------	--	-----	-----

あてはまるところに☑を入れてください。

地域で気になること

印	こんな高齢者を見かけませんか？
	高齢者が「お金を貸してほしい」「年金を自由に使えない」と言う。
	満足に食事をしていないのかもしれないと思うことがある。
	いつも同じ衣類を着ていたり、汚れたり、破れたりしている。
	ずっと入浴していないように見える。
	多くのゴミが放置されていて、いやな臭いがする
	これまで定期的に通院していたのに、病院へ行かなくなった。
	病院や施設に入ったとは聞かないが、最近姿を見かけない。
	介護サービスが必要だと思うが、利用していないようだ。
	高齢者が道路でずっと座り込んでいたり、うろろう歩いている。
	高齢者を訪ねていくと、家族が嫌がったり、会わせてくれない。
	自宅からどなり声や物が投げられる音が聞こえる。
	あざや傷があるのに、理由を聞いてもはっきりしない。
	外に出ていかないように家族がカギをかけていて自由に外出できないようだ。
	介護のことやお金のことで困っている様子だが、相談相手がいないようだ。

このチェック票は、生活に支援の必要な人の早期発見や虐待にならないための早期対応に活用します。記入者の秘密は守られます。

問い合わせ先：志摩市ふくし総合支援室 電話44 - 0280